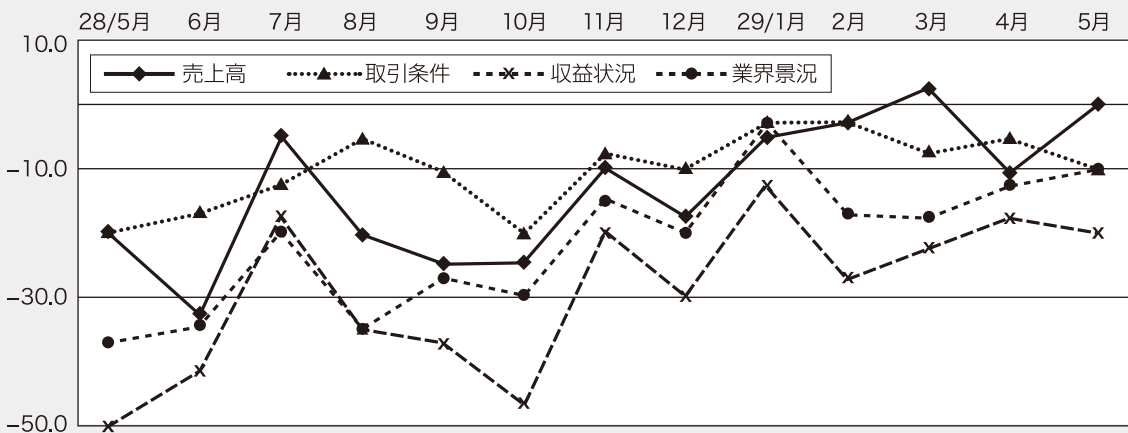


# 業界の今!

情報連絡員報告より  
5月の業界の動き

## ◆ 平成29年5月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値  
業界の景気動向(前年同月比)



	28/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月	増減
売上高	-20.0	-32.5	-5.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-17.5	-5.0	-2.5	2.5	-10.0	0.0	10.0
取引条件	-20.0	-17.5	-12.5	-5.0	-10.0	-20.0	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	-10.0	-5.0
収益状況	-50.5	-42.5	-17.5	-35.0	-37.5	-47.5	-20.0	-30.0	-12.5	-27.5	-22.5	-17.5	-20.0	-2.5
業界景況	-37.5	-35.0	-20.0	-35.0	-27.5	-30.0	-15.0	-20.0	-2.5	-17.5	-17.5	-12.5	-10.0	2.5

### 概要

平成29年5月の前年同月比DI値は前月に比べ、「売上高」は10.0ポイント、「業界景況」は2.5ポイント改善した。「取引条件」は5.0ポイント、「収益状況」は2.5ポイント悪化した。

業種や取り扱う製品により、景況感はばらつきが見られる。県内の有効求人倍率が回復し、景気は緩やかに上昇傾向が伺えるが、一方で中小企業にとっては人材不足や労務単価の上昇など、厳しい環境が続いている。また、廃業等により、組合員が減少しているとの報告も多く、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

## 人員不足により労務単価の上昇傾向が続いている(水道工事業(四日市))

	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	紙器段ボール	原紙メーカーは、段ボール原紙の値上げを表明しているが、段ボールシート、ケースの値上げの打診は組合員各社には届いていない。5月は数量的には、昨年並みに確保している。
	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館については、入館者数、売上とも昨年と比べて少し下回った。伊賀・信楽古陶館については、昨年を少し上回った。
	鍍金	当業界の生産量は、全国では若干の減少、東海北陸では10%程度の増加、三重県はかなりの増加であった。自動車関連は横ばい状態、電気機器関連は若干の増加、その他の製品は品種が多く、増加傾向にあった。半導体関連は、4月と同様にかなりの増加、これはIoT並びにAIに半導体が多く使われることが背景にあり、今後も暫くはこの傾向が続く見通しである。
	輸送機器(鈴鹿)	組合員各社に大きな動きはないが、安価にオーダーメイドで刃工具を製作していた近隣の小規模下請企業が廃業するなど外注委託先の選択肢が狭まっている。小回りが利き、技術を持った手工業の担い手が減ってしまい、納期がかり、価格も高い大手しか選択肢がないような状況になってきている。
非製造業	旅館	昨年は「G7伊勢志摩サミット」の開催により、伊勢志摩地域の宿は警備関係者の宿泊を受入れた宿と、受け入れなかった宿、事情によりキャンセルになった宿との差が激しいため、比較対象から除外して、影響が少なかった宿を選んで比較すると、昨年のサミット期間中1週間は閑散としていたが、今年はその分通常時に戻ったため、前年並くらいの集客であった。期待していた菓子博は宿泊客の増加に波及しなかったようである。
	警備	例年、5月の連休は、工事等が中止となり、イベントのみとなるが、今年度は伊勢市において菓子博が開催され、5月前半は、多くの受注があり、後半においては、晴天に恵まれ、好調であった。
	水道工事業(四日市)	今月は、特に大きな変化は見られなかった。ただ、人員不足による労務単価の上昇傾向は続いていると感じられる。
	トラック	今月の荷動きは、やや活発となった。人手不足感が強くなってきている。